

令和7年度 第2回吹田市小学校給食調理等業務委託事業者選定委員会 議事録

1 日時

令和7年6月6日(金) 午後1時20分～午後5時00分

2 場所

吹田さんくす3番館 4階 教育委員室

3 出席委員

委員長	公認会計士
副委員長	吹田市立小学校教頭
委員	吹田市立小学校校長
	吹田市PTA協議会代表者
	吹田市立小学校栄養教諭

4 次第

- (1) 財務関係説明
- (2) プレゼンテーション(4事業者)
- (3) 評価点集計
- (4) 協議(事業者選定)

5 議事概要

以下のとおり

○委員長 これより第2回吹田市小学校給食調理等業務委託事業者選定委員会を開催する。
本日のスケジュールの流れについて事務局に説明を求める。

○事務局 まず、参加事業者数と選考方式について説明する。今回吹田市小学校給食調理等業務委託事業者選定に応募した事業者は5者であり、辞退した事業者が1者あったため、本日のプロポーザル参加事業者は4者となっている。

次に選考方式について説明する。各事業者のプレゼンテーションの時間は、提案説明が

15 分、質疑応答が 15 分の合計 30 分間である。委員は事業者からの提案説明後、提案説明や提案書の内容についての質疑を事業者に対して行うことになる。

それぞれの事業者のプレゼンテーション開始前に事務局より評価基準書を配布する。質疑応答が終了次第、評価基準書に点数の記入をお願いする。

事業者の評価については、第 1 回事業者選定委員会において、プロポーザルの評価の基準を提示することになっていた。それが、「評価基準書の配点基準」という書類なので評価の際、参考にしていただきたい。

評価基準書の評価項目のうち「職員配置」の①～④及び⑥については、あらかじめ事務局で内容を確認し、点数化をしている。これを参考に委員が独自に点数を記入し、場合によってはそのままの点数を採用することを可としている。

なお、「職員配置」の⑤アレルギー除去食等個別対応の人員については、提案書等に記載がないため、提案内容を考慮し、委員が独自で点数を記入することになる。

それ以外にも提案書の中で不明瞭な点があり、点数化できない箇所がある。

A 者については桃山台小学校の正規職員の配置人数が仕様書通り 4 人で問題ないが、責任者・副責任者以外の配置は特定給食施設 2 年以上としているところ、6 か月となっている。また、責任者・副責任者の配置部分では、桃山台小学校・山手小学校ともに、どちらも調理師の配置となっており、どちらか一方を栄養士と定めている仕様書とは異なる。

C 者については、山手小学校・山田第三小学校・桃山台小学校ともに、経験年数が示されていない。仕様書では 2 年以上の経験者を配置することとなっている。

以上の点に関しては、採点にも関わる内容であるため、委員の皆様に質問していただきたい。

また、「企業の財務状況」については、あらかじめ公認会計士である委員長がそれぞれの事業者の評価の点数をつけている。

これらの点数を 4 者のプレゼンテーション終了後に委員に提示するので、それを参考にして評価基準書への記入をお願いする。

次に、評価基準書に記入した点数を採点表に転記するようお願いする。

委員の採点後、採点表を事務局が回収し、点数の集計作業を行う。委員全員の評価点から価格点を除いた合計点数が 6 割以上であることが採択の対象となる。

そのため、価格点に当たる「提案金額」の点数（25 点）を評価点の合計（180 点）から差し引いた点数（155 点）が 1 名分の点数となる。そこから 5 名分を乗じた合計点数（775 点）の 6 割は 465 点となり、465 点以上が採択の対象となる。

○委員長 今の説明について、質問はあるか。

(発言なし)

プレゼンテーションに先立ち、決算関係書類の説明を私から行う。

○委員長 各者の財務状況について説明をする。

(財務状況の説明) 非公開

○委員長 財務状況の説明について、質問はあるか。

(発言なし)

次に、プレゼンテーションに移る。

(A・B・C・D者にプレゼンテーション及び質疑応答実施) 非公開

(採点表集計及び集計結果発表)

○事務局 各委員の採点を一覧表示する。各自採点に誤りがないか確認をお願いする。

(誤りなしと確認)

全者とも各委員の合計点数が465点を上回っているため、採択の対象となる。集計結果では、1位と順位付けした委員数が最も多いB者が最優秀提案者である。B者の希望調査表では2校受託希望しており、希望校である山田第三小学校と西山田小学校の最優秀提案者となる。その次に1位と順位付けした委員数が多い事業者が同率であるため、2位と順位付けした委員数が多い事業者を選んでいく。2位と順位付けした委員数が多い事業者はC者であり、希望調査表では2校受託希望しており、希望校である山手小学校と桃山台小学校の最優秀提案者となる。また、千里丘北小学校を希望しているのはA者及びD者であるが、1位と順位付けした委員数が多いD者が最優秀提案者となる。

○委員長 選定結果について事務局の説明のとおり決定してよいか。

(「異議なし」と呼ぶものあり)

それでは、B者を山田第三小学校及び西山田小学校、C者を山手小学校及び桃山台小学校、D者を千里丘北小学校の最優秀提案者と決定する。

○事務局 選定結果に基づいて、各校の最優秀提案者に対して契約事務を進めていく。

○委員長 議事が終了したので、これをもって第2回吹田市小学校給食調理等業務委託事業者選定委員会を終了する。